

2代目長崎県庁舎

Photo of the 2nd Nagasaki Prefectural Office (1876.12.29-1907.4.1)

古写真にみる県庁舎跡地

The Former Site of the Nagasaki Prefectural Office in Historical Photos



長崎県庁舎写真(2代目)(長崎歴史文化博物館収蔵)

*右の2代目庁舎写真よりも古い時期の写真。
この写真が撮影された当時の正門は、
初代庁舎と同じものがそのまま使用されていた。



2代目長崎県庁舎正面<『長崎県庁舎並県会議事院工事沿革紀要』>
(長崎歴史文化博物館収蔵)

*後年の庁舎門柱は石製に替わっている。
写真の右側方向が大波止

初代庁舎の倒壊から2年後の明治9年(1876)12月29日、洋館木造二階建ての4棟(総面積1,084㎡)が完成。総工費は16,130円12銭で、明治10年(1877)1月から開庁しました。

2代目再建では、^{けんかいぎじどう}県会議事堂が含まれておらず、^{おけ}桶屋町の^{こうえいじ}光永寺が仮県会議場となりました。

明治14年(1881)10月、初めての^{こうしんかん}県会議事院交親館が^{すわ}諏訪公園内(現・県立長崎図書館郷土資料センター予定地)に建設され、翌年3月から約25年間使われました。